

寄稿

〔議会改革 議員定数は削減すべき〕 行政職員削減に励む折、議会自ら身を削る努力が必要

川崎市議会議員 山崎 なおふみ

本市をはじめとする各議会も次年度予算審議を含む第一回の定例会が閉幕致しました。

隣接の横浜市中会では、このたびの議会に議員定数の削減を盛り込んだ議員定数条例の一部改正案が上程され

賛成多数で可決されました。

結果、次回の改選時には議員定数が6名削減されることになり、年間1億5千万円程度の財政効果が見込まれています。

今日まで川崎市議会も議員報酬の削減や政務調査費

1円以上の領収書公開等の取組みを行って参りました。また昨年度から市民により開かれた議会を目指すと共に、市政における議会権限の充実・強化を図る事を目的に「議会のあり方検討プロジェクト」を構成し「仮

称）川崎市議会基本条例」の制定を目指しています。現在、本市が進める行政改革において、経常的な経費といえる人件費の削減を図ることを目的に、大胆な職員削減を行い、財政の健全化にかなりの効果を上



山崎なおふみ プロフィール

- 昭和48年生まれ。35歳
- 明治大学理工学部卒
- 妻と2人の子どもの4人暮らし
- 趣味は俳句とクラシック音楽鑑賞
- シーズンには42.195kmのフルマラソンを走る

主な政令指定都市の 市会議員1人あたりの人口

	人口(人)	議員数	議員1人あたりの人口(人)
横浜	3,654,429	92	39,722 3/1現在
名古屋	2,239,142	75	29,855 3/1現在
川崎	1,399,401	63	22,212 4/1現在
新潟	801,998	55	14,581 3/未現在
静岡	727,340	53	13,723 3/未現在

げています。

しかし、本来、行政を監督する権限を有する議会自ら身を削る努力がなされなければ、職員はどのようなふうか。

行政職員とともに額に汗して市民の為に働いてこそ、市民理解を得られるものと確信しています。

勿論、情報公開や審議の活性化等も重要な課題の一つですが、今、市民の皆様から求められている改革は「議員定数の削減」であると考えます。

通常、議員定数は法定定数（本市の上限は72）の範囲内において条例により定められており、現行は63名に抑えられています。更なる削減を求めて参ります。